試験施工エリアの施工状況について

1.　全体の施工計画と現在の進捗状況

試験施工エリアの掘削進捗状況を以下に示す。

表 1-1　平成 23･24 年度の施工計画

実験地	実験地の目的	施工計画																								
			平成23年度												平成24年度											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
①水位安定型実験地	地下水を水源とする水位の安定した、貧栄養な実験地において、シードバンクや外部からの種子の飛来、鳥等の持ち込んだ種子による水辺植生の成立、開放水面下における水生植物再生状況についてモニタリングする	－																								
②水位変動型実験地	洪水の攪乱による影響や種子の定着動態の把握、冠水によるヤナギ類や外来種（セイタカアワダチソウ）の生育抑制状況等についてモニタリングする	与良川右岸																								
		与良川左岸 H23.1掘削完了																								
③環境学習フィールド(2)	(1)では与良川の水位変動を受ける池や湿潤環境、(2)では地下水や雨水を水源とする水位の安定した池沼と周辺の湿潤環境において、池の水位や地下水位、植物再生状況とそこに生息する小動物をモニタリングする	－																								
④環境学習フィールド(1)		H23.1掘削完了																								
⑤湿潤環境形成型実験地	平均地下水位に沿った掘削を行うことにより地下水や雨水により涵養された小さな池沼が点在する湿潤環境を再生するとともに、そこに生息する小動物をモニタリングする	－																								

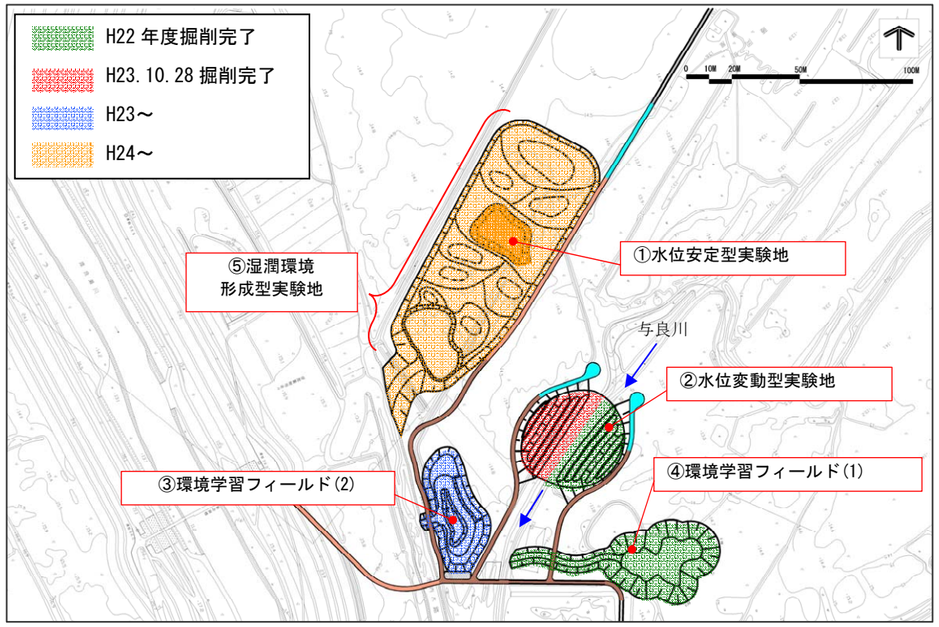

図 1.1　試験施工エリアの全体施工計画と進捗状況